

商店街の中の7.2mの短屋

これは商店街に寄生する集合住宅です。敷地は大阪の寂れた600mほど続く商店街の中です。アーケードの付いている商店街のストリートを住宅の廊下にと考えました。

40坪をできる限り引き延ばし、1坪を40個横に並べて住宅を作りました。引き延ばす事で、なるべく商店街のストリートに接するようにしました。

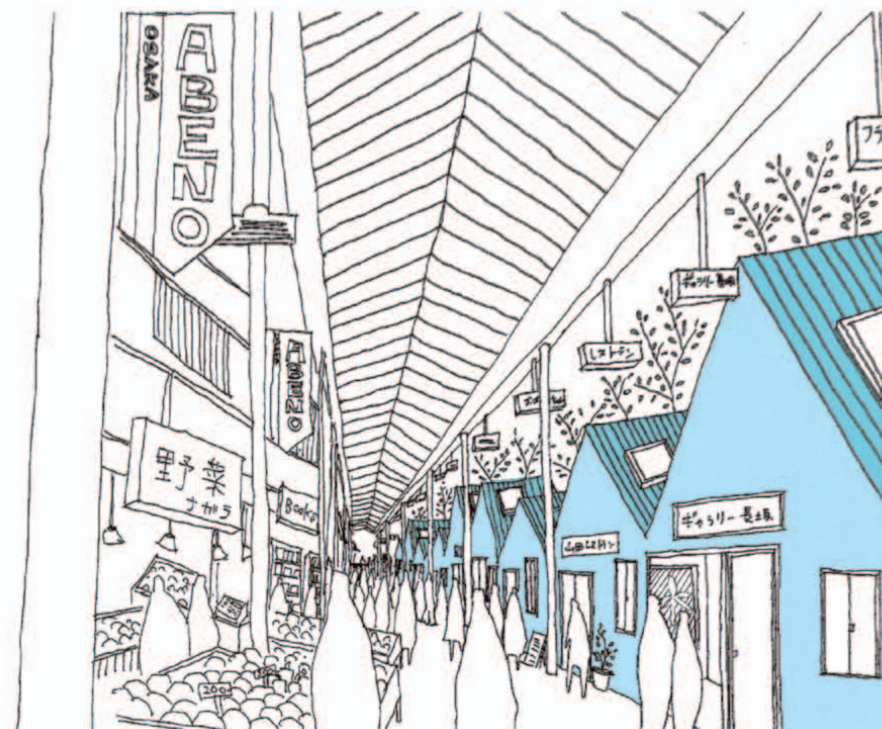
住宅には老人や若者ら9人が共同で暮らします。9人分の小さな9個の家型と1つの共用部の家型が並んで、小さな街のようなかたちをしています。1つの家型には商店街に開くパブリックな部分と裏庭に開いているプライベートな部分を持っています。

寂れた店舗付き住宅を潰してできた空地は、みんなで使える大きな森にしました。住宅の部分も店舗の部分もこの森にはみ出すこともできますし、住人の交流の場にもなります。

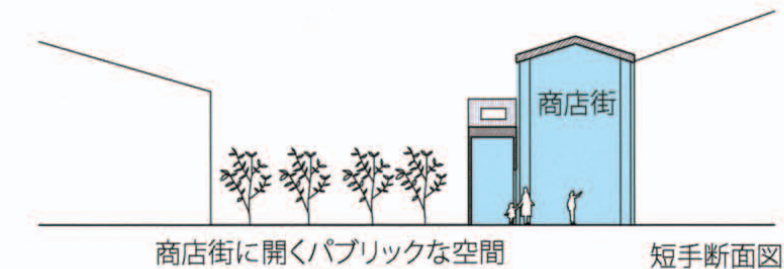
この7.2mの住宅は、ストリートを廊下としても商店街の道としても使うことで都市と繋がりが、この街をゆっくり変えていく。



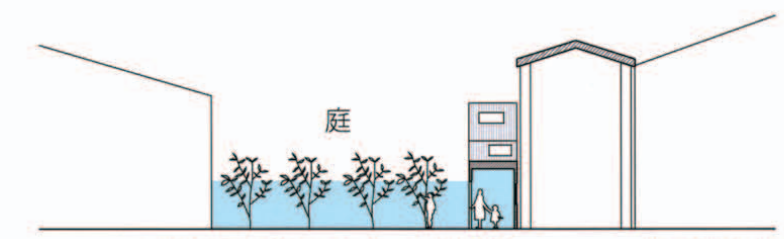
住所:大阪市阿倍野区王子商店街 配置図(1/1000)



商店街を廊下として使っている

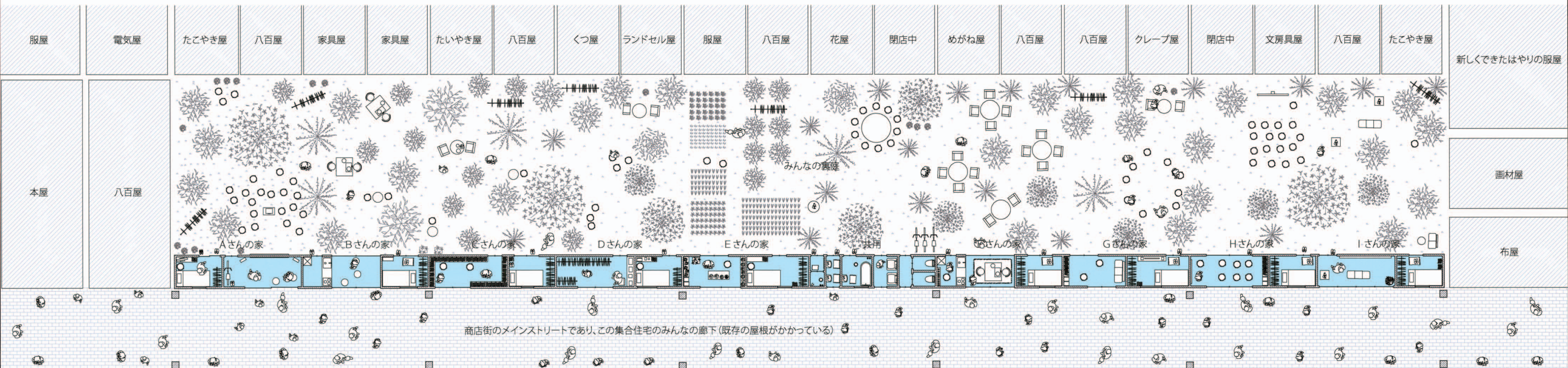


商店街に開くパブリックな空間 短手断面図1



裏庭に開くプライベートな空間 短手断面図2

1つの住宅は外に開く空間と内に開く2つの空間を持つ



新しくできたはやりの服屋 画材屋 布屋

服屋 電気屋 たこやき屋 八百屋 家具屋 家具屋 たいやき屋 八百屋 くつ屋 ランドセル屋 服屋 八百屋 花屋 閉店中 めがね屋 八百屋 八百屋 クレープ屋 閉店中 文房具屋 八百屋 たこやき屋

本屋 八百屋

Aさんの家 Bさんの家 Cさんの家 Dさんの家 Eさんの家 共用 Fさんの家 Gさんの家 Hさんの家 Iさんの家

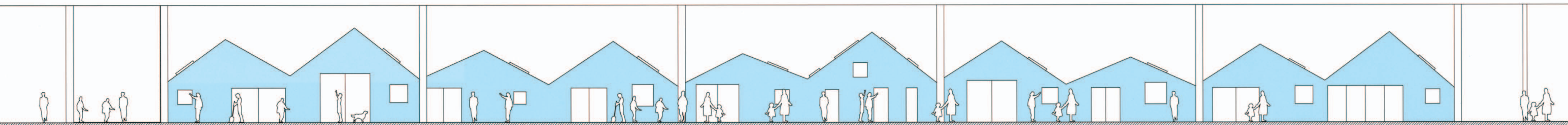
お風呂屋 CD屋 まくら屋 数珠屋 クレープ屋 閉店中 本屋 豆腐屋 だんご屋 閉店中 八百屋 たこやき屋 豆腐屋 お好み焼き屋 お茶屋 古本屋 服屋 閉店中 味噌汁屋 古本屋 閉店中 服屋 閉店中 文房具屋

Aさんの家(小さな映画館) 映画館のようにとても大きなテレビがある Bさんの家(街の食堂) 大きなキッチンがある Cさんの家(街の古本屋) たくさんの本棚に囲まれた部屋 Dさんの家(街の服屋) 服をたくさん並べている部屋 Eさんの家(街の八百屋) 裏庭で作った野菜や花を売っている 共用(街のお風呂屋さん) みんなで使う大きなお風呂やトイレなど Fさんの家(街のカフェ) 奥の森でもゆっくりコーヒーを飲む Gさんの家(街の音楽室) ギターなどを教えている Hさんの家(おばあちゃん教室) おばあちゃんが子供の面倒を見ている Iさんの家(街のギャラリー) 大きな空間に絵が飾ってある

一つの住宅は1.8m×7.2mでできている。一つの住宅には、商店街に開くパブリックな部分と、裏庭に開くプライベートな部分を持っている。パブリックな部分がどんどん商店街化してゆき、既存の商店街と混ざっていく。こうして、この7.2mの住宅は都市と繋がっていく。裏庭は住人たちを繋げる場とも、お店が拡張する場にもなる。 平面図(1/150)



一つの家型に一人が住む。天井高さは様々な大きさがあり、その住宅のキャラクターを出している。たとえば、とても天井の高いところはギャラリーになったり、身長くらいの高さのところは動物の巣のような寝室になっている。小さな寝室にはトップライトが設けられていて、とても明るい空間となっている。みんなのお風呂はまるで野外のように天窓が大きい。 長手断面図(1/150)



商店街のアーケード越しにまるでたくさんの家が並んでいるようなファサード。表側に開くパブリックな部屋の大きな窓と、プライベートな寝室の小さな窓が交互に並ぶ。寂れた商店街のメインストリートはまるで住宅の廊下のように使われていき、都市のインフラの中が再び人の交流が生まれます。 立面図(1/150)